

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	音楽Ⅲ	3	3年1組

1 使用教材

使用教科書	Joy of Music
出版社	教育芸術社
副教材等	—
出版社	—

2 学習の目標

- 1 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と、音楽文化を尊重する態度を身に付ける。
- 2 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図を持って創造的に演奏する能力を高める。
- 3 音楽と他の芸術や文化との関わりを理解し、我が国の音楽文化を継承し創造していく態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを主体的に味わって聴いている。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を深め、創造的に表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを理解して、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて創造的な表現意図を持っている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	音楽や音楽文化を理解し、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業中の活動への積極的な参加・教師の発問に対する応答・授業への出席状況
個別課題の達成状況	A	A	B	課題へ取り組む姿勢や達成度
作品の完成度	A	A	C	作品の完成度

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	器楽探究Ⅰ 歌唱探究Ⅰ ソルフエージュⅠ 鑑賞Ⅰ	・任意の楽器を探究し、これまで習得してきた楽器に関する技能を応用しながら、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。 ・任意の歌唱曲を探究し、これまで習得してきた歌唱に関する技能を応用しながら、表現を工夫して個性豊かに演奏する。 ・読譜、視唱、聴音 他 ・西洋音楽史
2 学期	器楽探究Ⅱ 歌唱探究Ⅱ ソルフエージュⅡ 鑑賞Ⅱ	・任意の楽器を探究し、これまで習得してきた器楽に関する技能を応用しながら、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。 ・任意の歌唱曲を探究し、これまで習得してきた歌唱に関する技能を応用しながら、表現を工夫して個性豊かに演奏する。 ・楽典 他 ・世界の諸民族の音楽 ・日本の伝統音楽
3 学期	課題研究	・演奏の技能を身に付けたり、高めたりしながら、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。